



柚木だより

発行
自衛隊静岡地方協力本部募集課
〒420-0821 静岡市葵区柚木366
Tel : 054 (261) 3151



旅 立ちの春 家族や地本隊員が入隊予定者を見送り

地本は3月24日（月）、本部庁舎（静岡市）において入隊予定者の見送りをを行った。

この日、本部庁舎から旅立つのは陸自武山駐屯地（神奈川県横須賀市）に一般曹候補生として入隊する、静岡県中・西部地区の18人。生活用品をまとめたリュックやスーツケースを手に、家族とともに少し緊張した面持ちで集まった。

出発までの待ち時間、入隊予定者は待合室で教育隊の紹介映像を視聴したり、家族や地本の担当広報官と話をしたりして、これから始まる自衛隊での生活に思いをはせていた。

駐屯地に向かうバスが到着すると、地本隊員や見送りの人たちが二列に並んで道を作り、バスに乗り込む入隊予定者たちに温かい拍手と声援を送った。

バスが発車する際には、入隊予定者が窓を開けて手を振り、見送る人たちも「いってらっしゃい」「頑張って」と大きな声で呼びかけ、しばしの別れを惜しみつつ新たな門出を祝っていた。



全国の基地・駐屯地の教育隊に着隊しました！



熊谷基地



朝霞駐屯地



板妻駐屯地



横須賀教育隊



県内各地で入隊・入校予定者激励会を開催



中学生と自衛隊が出演 第44回静岡音楽祭

本部



地本は1月25日(土)、静岡県コンベンションアーツセンター/グランシップ(静岡市)で開催された第44回静岡音楽祭に協力した。

これは静岡県防衛協会が主催し、県内に所在する学校の吹奏楽部や自衛隊の音楽隊等が出演するもの。当日は一般応募での当選者など2160人が来場した。

オープニングを飾ったのは、静岡市立籠上中学校と東中学校の吹奏楽部による合同バンド。若者に人気のJPOPや吹奏楽の定番曲など6曲を演奏し、パートごとのソロ演奏にも大きな拍手が送られた。

陸自滝ヶ原駐屯地(御殿場市)の有志で活動している滝ヶ原雲海太鼓は、大小の和太鼓による力強い響きで観客を圧倒した。陸自第34普通科連隊らっぱ隊(御殿場市)は、迷彩服姿の隊員16人が一糸乱れぬ動きで登場し、自衛官の一日の流れに沿って「日課号音」などを高らかに吹奏した。

将来の陸上自衛官を養成する陸自高等工科学校(神奈川県横須賀市)のドリル部は、軽快なドラムとシンバルの音に合わせてライフルを巧みに操るファンシードリルを披露し、統制された動きと華麗な技で観客を魅了した。

最後は陸自東部方面音楽隊(東京都練馬区)が、信号らっぱを使った「信号らっぱ協奏曲」や静岡にゆかりのあるアニメソングなどで会場を盛り上げ、観客は手拍子で一体となって演奏を楽しんでいた。



大学の合同企業研究セミナーで自衛隊の魅力をPR

三島

三島所は2月5日（水）、日本大学国際関係学部（三島市）で開催された令和6年度学内合同企業研究セミナーに参加した。

このセミナーは、学生が企業や団体の人事・採用担当者との面談を体験することで、業界や企業への理解を深め、今後の就職活動に生かすことを目的に開催されているもの。当日は自衛隊を含む26の企業・団体ブースに、同大学の1、2、3年生約230人が訪れた。

1回40分の説明を5回行い、自衛隊ブースには合わせて23人が訪れた。静岡地本募集課募集班長の倉重長門3海佐が、自分の経歴を基にグローバルな活動の場や多様なキャリアパスがあること、女性自衛官の活躍、幹部自衛官の魅力ややりがいを発信し、自衛隊の任務や災害派遣、国際貢献等の活動について具体的に紹介した。

また、東部方面総監部人事部募集課募集班長が4人の若手事務官（総合職）とともに会場を訪れ、質疑応答の時間に学生たちと懇談し、防衛省職員としての魅力を伝えた。

ブースを訪れた学生からは「細部まで話を聞くことができて満足した」「職業選択肢の一つとして検討したい」といった感想が寄せられたほか、受験希望者から「もっと詳しく教えてほしい」との声も聞かれた。



静岡



「先生を助けてあげられる」

静岡女子高校で防災教育を実施

静岡地本は3月12日（水）、陸自第34普通科連隊（御殿場市）とともに静岡女子高等学校（静岡市）で防災教育を行った。これは、同校商業科の1、2年生合わせて60人を対象に、防災意識を高め、自衛隊の活動について理解を深めてもらうため行ったもの。

まず、静岡所の広報官が自衛隊の概要について説明し、その後、同所長の成清隆太1等陸尉が動画を交えながら災害の実状や備えることの大切さを語った。東日本大震災や能登半島地震の動画から伝わる当時の緊張感や被災者の声などに生徒たちは真剣な表情で見入り、学校が所在する静岡市で起こった台風被害など、身近な災害にも関心を寄せていた。

講話後は、学年ごとに分かれて陸自車両見学と担架を使った救急法体験を行った。屋外で行われた車両見学では、生徒たちが興味津々に軽装甲機動車と高機動車を囲み、座席に座ったり、「（軽装甲機動車の）窓はどうして台形なんですか」と隊員に質問を投げかけたりして自衛隊への理解を深めていた。

救急法体験では、衛生小隊の隊員が担架や毛布を使った負傷者の搬送方法を紹介し、生徒たちが体験した。最初は毛布の耐久性や生徒だけでの搬送に不安を感じていた様子だったが、男性教諭や自衛隊の男性隊員を乗せても問題なく搬送できる安定性に、「いざという時は先生を助けてあげられる」と自信をつけていた。

高校生が掃海隊群の艦艇を見学

浜松

浜松所は2月11日（火）、蒲郡港（愛知県蒲郡市）で行われた海上自衛隊自衛艦隊掃海隊群の艦艇見学に、自衛官志望の高校生2人を引率した。

今回の艦艇見学は、伊勢湾における掃海訓練に併せて行われたもので、参加艦艇の中で最も大きな掃海母艦「うらが」の外観見学、掃海艦「ひらど」、掃海艇「たかしま」「いずしま」の艦内一般公開が行われた。

当日は晴天に恵まれ、岸壁は多くの来場者で賑わった。参加者は、まず「ひらど」に乗艦して海中の機雷を除去する掃海任務で使用される装備品を見学し、乗員の説明に興味津々な表情で聞き入っていた。

艦内では、艦長が指示を出す艦橋のほか、食堂、浴室といった生活空間も見学することができ、効率的な設備の配置や清潔で機能的な環境に、「船の中にこんなに多くの設備があると知って驚いた」「狭いけれど、みんなで生活するのは楽しそう」といった声が聞かれた。

次に、一回り小さい「たかしま」と「いずしま」を見学した。掃海艦以上にコンパクトで洗練された艇内の環境と、磁気反応型機雷に対処できる木造の船体を見て「こんなに小さな船で重大な任務をこなしているとは」と、掃海艇の持つ能力に驚嘆していた。



転出

- ▽ 所沢・防衛医科大学校 行(一)7 五十嵐 昭善 (副本部長) 4月1日付
- ▽ 練馬・第1後方支援連隊 1等陸尉 五十嵐 有希 (浜北所長)
- ▽ 神町・第6師団司令部 1等陸尉 清水 邦彦 (清水所長)
- ▽ 富士・富士教導団付隊 陸曹長 坂口 宏和 (総務課)
- ▽ 浜松・第1航空団 2等空曹 柴田 道郎 (浜松所)
- ▽ 習志野・第1空挺団特科大隊 2等陸曹 木元 洋 (清水所)
- ▽ 富士・情報学校情報教導隊 2等陸曹 櫻井 航 (援護課) 3月17日付
- ▽ 入間・入間病院総務部 行(一)6 松原 和彦 (総務課長)
- ▽ 霞ヶ浦・関東補給処装備計画部 行(一)5 中川 重男 (援護課)
- ▽ 長野・長野地方協力本部 行(一)4 清水 満 (援護課)
- ▽ 古河・古河駐屯地業務隊 行(一)4 米山 和宏 (総務課)
- ▽ 板妻・板妻駐屯地業務隊 行(一)3 小池 国幸 (募集課)
- ▽ 仙台・宮城地方協力本部 行(一)2 須貝 岳 (総務課) 4月1日付

転入

▽ 第27代 副本部長
行(一)7 入舟 幸治
前職：西部方面總監部人事部



4月1日付で静岡地方協力本部副本部長に着任いたしました。
これまで主に陸上自衛隊で勤務させていただき、その間、地方協力本部勤務も経験しましたが今回このような重要な立場を任せいただくことになり身の引き締まる思いです。
地方協力本部を取り巻く環境は今後もより一層厳しいものになると思われますが、初めての静岡での勤務、生活を楽しまつつ、与えられた任務を果たせるよう尽力する所存でありますので引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

- ▽ 浜北所長 1等陸尉 佐久間 繁 (練馬・第1師団司令部)
- ▽ 伊東所長 1等陸尉 松下 正寛 (今津・第3偵察戦闘大隊)
- ▽ 清水所長 3等陸尉 早川 延慶 (板妻・第34普通科連隊)
- ▽ 総務課 1等陸曹 恵 竜太 (豊川・第49普通科連隊)
- ▽ 浜松所 2等空曹 野沢 直巳 (浜松・第1術科学校)
- ▽ 総務課 2等陸曹 水谷 元気 (板妻・第34普通科連隊)
- ▽ センター 2等陸曹 山口 和輝 (北富士・東部方面特科連隊) 3月17日付
- ▽ 総務課長 行(一)6 横山 孝志 (霞ヶ浦・関東補給処総務部)
- ▽ 総務課 行(一)4 鈴木 淳 (市ヶ谷・中央会計隊)
- ▽ 援護課 行(一)4 稲川 翔太 (浜松・航空教育集团司令部)
- ▽ 援護課 行(一)4 荒谷 裕俊 (横浜・神奈川地方協力本部)
- ▽ 援護課 行(一)2 矢野 健太郎 (横浜・神奈川地方協力本部) 4月1日付

部内異動

- ▽ 三島所長 3等海佐 高木 淳規 (伊東所長)
- ▽ 援護課 2等陸曹 本田 久朗 (センター)
- ▽ 清水所 2等陸曹 山澤 俊宏 (募集課) 3月17日付
- ▽ 募集課 行(一)3 相馬 那由太 (援護課) 4月1日付

任期終了

- ▽ センター 非常勤 高橋 阿由美
- ▽ センター 非常勤 増淵 浩一郎 3月31日付

新規採用

- ▽ センター 非常勤 小林 輝臣
- ▽ センター 非常勤 三浦 宏文 4月1日付

定年退官



センター
3等陸尉 杉山 靖
1月2日付



センター
陸曹長 深澤 英人
2月26日付

静岡地本 4、5、6月 主要行事予定

4月

- 12日…幹部候補生・幹部候補曹 1次試験
- 13日…幹部候補生(飛行要員)1次試験
- 15日…予備自衛官補試験(WEB)
- 19日…予備自衛官補試験

5月

- 7日…自衛官候補生試験(WEB)
- 10日…自衛官候補生試験
- 15～18日…下田黒船祭
- 16～18日…静岡ホビーショー
- 20日…一般曹候補生試験(WEB)
- 25日…予備自衛官1日間訓練(本部)

6月

- 6～10日…予備自衛官5日間訓練(板妻)
- 8日…予備自衛官1日間訓練(板妻)
- 14日…幹部候補生・幹部候補曹1次試験
- 17日…自衛官候補生試験(WEB)
- 21日…一般曹候補生2次試験 自衛官候補生試験